

# あいち農産物生産流通レポート

令和元年8月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ バラの夏期高温期におけるCO <sub>2</sub> 施用技術を開発	(農業総合試験場) 1
・ 卸売市場法の一部改正について	(食育消費流通課) 3
◎ 地域トピックス	
・ 産地直売所の機能強化の取組について	(新城設楽農林水産事務所) 4
◎ 東日本情報	
・ 平成30年度京浜市場における愛知県秋冬野菜の 販売結果について	(東京事務所) 5
◎ 西日本情報	
・ 「あいち花の交流ひろば」を開催しました	(園芸農産課) 7
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・ 名古屋・東京市場における青果物の8月の見通し	10
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の8月の見通し(県内市場)	22

※今月、「フラワーページ」はありません。

## 内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課 (052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ (03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。  
それぞれの情報につきましては、

### 【輸出入実績】

農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」  
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

### 【消費者物価指数】

全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」  
<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>  
名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」  
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

### 【農作物価指数】

農林水産省大臣官房統計部「農作物価統計調査」  
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

### 【名古屋市小売価格】

総務省統計局「小売物価統計調査」  
[http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?\\_toGL08020101\\_](http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_)

を御覧ください。



バラの夏期高温期における CO<sub>2</sub> 施用技術を開発

農業総合試験場

愛知県におけるバラ（切花）の平成 29 年産産出額は 25 億円で全国 1 位です。しかし、本県の夏期の高温は施設栽培のバラにとって厳しい環境であるため、高温期における良品生産技術の開発が求められています。農業総合試験場では平成 27 年から夏期低コスト高温対策技術について試験を行い、その技術の一つとして CO<sub>2</sub> 施用技術を開発しましたので紹介します。

1 CO<sub>2</sub> 施用技術の概要

本技術では、バラの高設栽培で CO<sub>2</sub> を局所施用し、同化専用枝（光合成を促進する枝）が位置する高さ 50 cm の CO<sub>2</sub> 濃度を調節します。CO<sub>2</sub> 施用機には灯油を使う燃焼式を用います。この方式では高温の CO<sub>2</sub> を含む燃焼ガスが発生するため、ガスは冷却機を通過させ、ファンを用いてベンチ下に配置した送風ダクトを通じて局所施用します（図 1）。ダクトは 50cm 間隔でベンチ側に 2 cm 程度の穴をあけます。

この方法による灯油使用量は、稼働時間帯を午前 7 時から午後 4 時、稼働条件を日射量 150W/m<sup>2</sup>、CO<sub>2</sub> 濃度 420ppm 以下とした場合、7～9 月の 3 か月間で約 80L（施用面積 100 m<sup>2</sup>）でした。



図 1 灯油燃焼式 CO<sub>2</sub> 施用機による局所施用方法

2 施用による施設内 CO<sub>2</sub> 濃度とバラの収量及び品質

施設内の CO<sub>2</sub> 濃度は、CO<sub>2</sub> 無施用区ではダクトからの高さに関わらず 400ppm 程度で推移しました（図 2）。CO<sub>2</sub> 施用区では施用機が稼働すると高さ 50cm で 500ppm 以上に上昇し、稼働が停止すると 400ppm 程度まで低下しました。高さ 150cm、250cm では施用機が稼働すると 420～500ppm まで上昇し、稼働が止まると約 400ppm まで低下しました。これらのことから、この方法により同化専用枝の位置する高さ 50cm で CO<sub>2</sub> が局処施用されていることを確認できました。

CO<sub>2</sub>施用の有無が収量・品質に及ぼす影響について「サムライ08」、「アヴァランチェ」を用いて調査しました。株あたりの切花本数は、CO<sub>2</sub>施用により「サムライ08」では、5.2本から5.4本へ約4%、「アヴァランチェ」では9.2本から9.9本へ約8%増加しました（表1）。さらに、両品種ともCO<sub>2</sub>施用によって切花重が増加、花高が伸長、茎径が肥大するなど品質が向上しました。

また、CO<sub>2</sub>施用により「サムライ08」では切花長70cm以上の階級が約10%、「アヴァランチェ」では60~70cmの階級が約30%、70cm以上の階級が約50%増加し、両品種とも上位階級の切花が増加し、下位階級が減少しました（図3）。

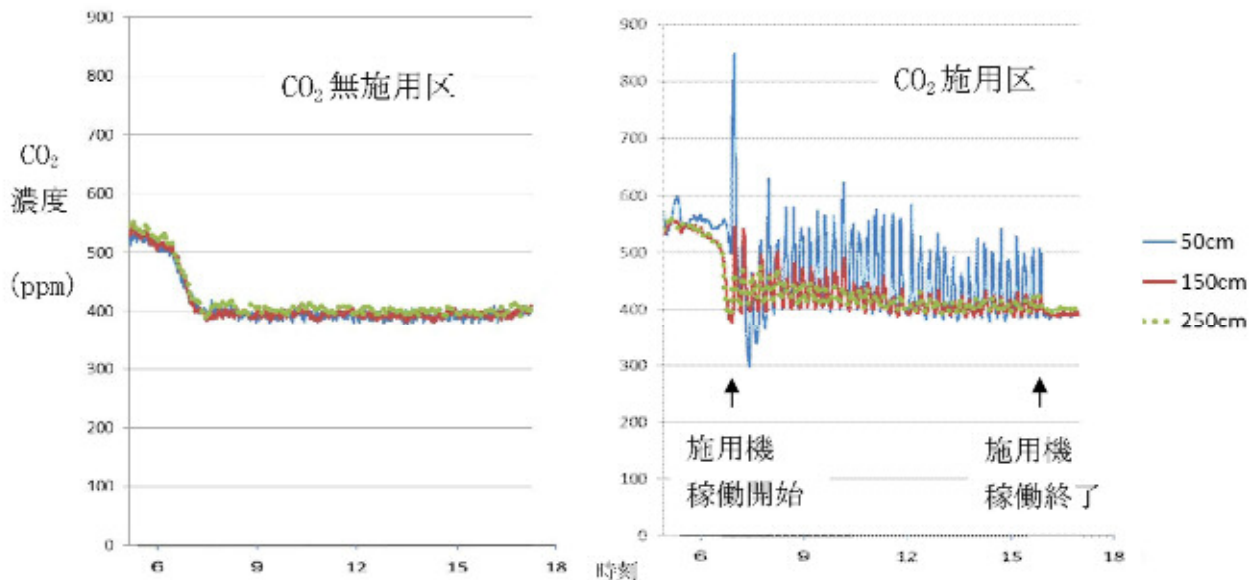


図2 施設内CO<sub>2</sub>濃度の推移(平成29年7月22日)

表1 換気条件下におけるCO<sub>2</sub>施用の有無が収量・品質に及ぼす影響(7~9月)

品種名	CO <sub>2</sub> 施用	切花本数	切花重	花高	茎径
		本/株	g	mm	mm
サムライ08	施用	5.4	48.0	48.3	5.5
	無施用	5.2	42.4	46.8	5.3
アヴァランチェ	施用	9.9	22.3	41.2	4.5
	無施用	9.2	20.7	40.2	4.3

### 3 おわりに

今回開発したCO<sub>2</sub>施用技術は、施設の側窓を開閉する夏期にも効果的にCO<sub>2</sub>の局所施用ができ、バラの収量増加、品質向上に有効な技術です。

しかし、施設内で灯油を燃焼させることから、①施用機周辺に可燃物を置かない、②排出ガスは必ず冷却させるなどの安全に配慮してください。

【本研究は農林水産省「戦略的プロジェクト研究推進事業(実需ニーズの高い新系統及び低コスト栽培技術の開発)」で実施しました】

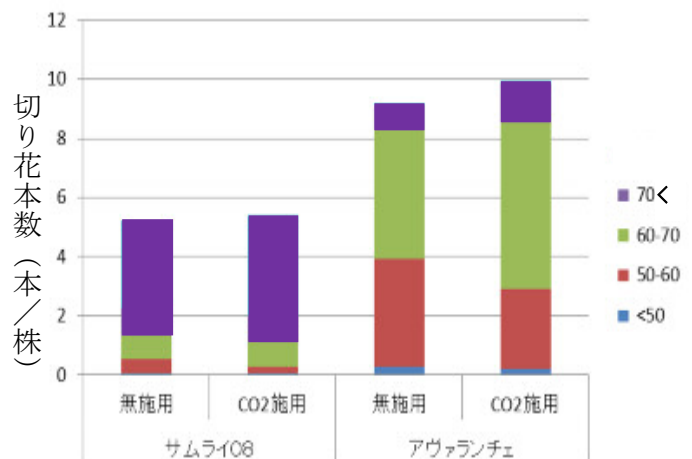


図3 CO<sub>2</sub>施用の有無と階級別切り花本数(7~9月)

## 卸売市場法の一部改正について

食育消費流通課

### 1 法改正の概要

卸売市場を含めた食品流通の合理化と生鮮食料品等の公正な取引環境の確保を促進する目的のもと、改正卸売市場法が平成30年6月22日に公布され、令和2年6月21日に施行されます。生鮮食料品等の公正な取引の場として、6つの共通取引ルールを遵守し、公正・安定的に業務運営を行える卸売市場を、中央卸売市場又は地方卸売市場として農林水産大臣又は都道府県知事が認定・公表し、指導・検査監督することとなります。

また、各卸売市場では、その他の取引ルールを定めることができるほか、取引実態に応じて、創意工夫をいかした事業展開が期待されます。

### 2 認定要件となる遵守すべき共通の取引ルールとその他の取引ルール

#### ○共通の取引ルール

	取引ルール	内 容
①	売買取引の方法の公表	せり売、入札、相対取引等の取引の方法を公表すること。
②	差別的取扱いの禁止	出荷者等に対して、不当に差別的な取扱いをしないこと。
③	受託拒否の禁止 (中央卸売市場のみ)	卸売のための販売の委託の申込みがあった場合には、正当な理由がある場合を除き、その引受けを拒まないこと。
④	決済ルールの策定・公表	売買取引を行う場合の支払期日や支払方法等を公表すること。
⑤	売買取引条件の公表	取扱品目や委託手数料、出荷奨励金等の取引条件を公表すること。
⑥	売買取引結果等の公表	卸売の数量や価格及び委託手数料額等の取引結果を公表すること。

#### ○その他の取引ルール（開設者が取引参加者の意見を十分に聴き、定められる事項）

	取引ルール	内 容
①	商物分離	卸売市場外にある生鮮食料品等の卸売業者による卸売
②	第三者販売	仲卸業者及び売買参加者以外の者への卸売業者による卸売
③	直荷引き	仲卸業者による卸売業者以外の者からの買受け
④	自己買受け	卸売業者による卸売の相手方としての買受け
⑤	受託拒否の禁止 (地方卸売市場)	卸売のための販売の委託の申込みがあった場合には、正当な理由がある場合を除き、その引受けを拒まないこと。

### 3 法改正に伴い卸売市場に期待されること

- ・食品等の流通の核として国民に安定的に生鮮食料品等を供給する役割を果たすこと。
- ・生産者の所得向上等への的確な対応のため、新たな需要の開拓や付加価値の向上を実現すること。
- ・食品等の円滑な搬出入を可能にするトラックバースの整備等、流通の効率化に取り組むこと。
- ・コールドチェーンの確保や品質管理認証の取得に必要な衛生設備の整備等、品質管理及び衛生管理の高度化に取り組むこと。
- ・災害等の緊急事態の際に生鮮食料品等を供給できるよう事業継続計画（BCP）の策定等に努めること。



## 産地直売所の機能強化の取組について

新城設楽農林水産事務所

新城設楽農林水産事務所では、委託事業や先進地視察研修会を通じて、管内の直売所を支援しています。

### 1 産地直売所交流機能強化推進事業の実施

農政課では、平成30年度に産地直売所交流機能強化推進事業を実施しました。この事業では「道の駅アグリステーションなぐら」をモデルに、直売所が抱える課題の解決に向けた取組を支援するとともに、その成果をマニュアル化することで他の直売所に波及させることを目的としました。

平成31年1月28日に開催した成果報告会では、直売所従業員の意識向上、新たなノウハウの習得に資する勉強会の開催などの事業実施報告に加え、直売所の主要農産物であるエゴマのより効果的な生産・販売方法や、インターネットを通じた地場産品の販売方法についての発表があり、来場者は熱心に耳を傾けていました。

さらに、これらの成果はマニュアルとして取りまとめ、管内外の直売所にも送付しました。



成果報告会の様子

### 2 令和元年度中山間地農業ルネッサンス推進事業の実施

本年度は中山間地農業ルネッサンス推進事業を活用し、令和元年7月8日に「アグリステーションなぐら」を運営する名倉高原生産組合の参加者を中心に、長野県の「上松町特産品開発センター利用組合（以下、利用組合）」と「信州自然王国」で視察研修会を実施しました。利用組合は、平成12年に女性農家を中心に設立され、エゴマなどの町内農産物の加工・販売を行っています。また、信州自然王国は、無添加農産加工品の製造など、環境負荷を抑えた「環境栽培」に取り組んでいます。今回の視察では、農産加工や販売等に関する積極的な意見交換が行われました。

その他、前年度実施した産地直売所交流機能強化推進事業の取組を継続させるために、業務委託により招いた外部専門家による指導等を年4回、実施する予定です。



利用組合の農産物加工場



信州自然王国の農産物加工場

## 平成30年度京浜市場における愛知県秋冬野菜の販売結果について

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

7月2日（火）、首都圏の青果卸売会社30社、J Aあいち経済連及び愛知県により構成される「京浜市場愛知県野菜連絡会」の第44期全体会議並びに秋冬野菜出荷反省会が開催されました。本会議において、平成30年作秋冬野菜の出荷状況の情勢報告が行われましたので紹介します。

### 1 平成30年作販売概要

京浜・関東市場における販売結果は、J Aあいち経済連の取扱実績で、数量82,673 t（前年対比93%）、金額211億円（同76%）となりました。主要品目の数量ではキャベツ：46,769 t（同91%）、トマト：9,963 t（同95%）、ミニトマト：5,927 t（同98%）、ブロッコリー：5,086 t（同90%）、おおば：1,448 t（同101%）でした。

平成29年作の記録的高騰を背景に、輸入野菜が業務需要に大きく食い込んだ状況の中、関東近郊からの潤沢な入荷と重なったキャベツなど葉物類の低迷や、市場と産地の連携した取組により荷動きが改善したものの、全国的な入荷増で改善分が相殺されたトマトなど、課題の多い年となりました。

### 2 主要品目の販売概要（京浜市場愛知県野菜連絡会販売資料より）

#### （1）キャベツ

##### ア 販売経過

10月上旬の台風24号で前年同様に作柄が心配された状況の中、出荷が始まりました。そのため、加工業務向けには早々に輸入品を手配され、ほぼ量販店のみの販売が続き価格低迷が長期化しました。また、銚子や三浦等の他産地は台風の影響が少なく潤沢な入荷だったほか、3月以降は台風後の蒔き直し分が重なり販売に苦戦しました。

##### イ 競合産地の動向

だいこん及びはくさい、洋菜などの他品目からの転作により全国的に作付けは増加しています。特に安定した価格での取引を求めて加工業務対応が増えています。

##### ウ 消費動向

量販店及び加工業務中心の販売ですが、加工のシェアが年々増えています。量販店では、1玉売りから半分のカット売りや小玉販売と単価を抑えた販売が増加しており、特に秋冬期は9、10玉の注文も増えています。加工業務は安定した数量を求めており、近年は輸入品も抵抗感なく取り扱うことも多くなっています。

##### エ 愛知県への提言

国内産地だけでなく、輸入キャベツの増加も目立っており、加工キャベツの対応をしていかないと価格競争に巻き込まれる恐れがあります。価格低迷が続く傾向にあるため、早急に対策を打つ必要があると考えられます。今後、各市場の提案にどれだけ応えられるかが期待されています。

#### （2）トマト

##### ア 販売経過

年内では、出荷開始時は台風や夏場の高温・曇天により数量減の単価高で推移しま

したが、11月以降の好天暖冬で年末にかけて潤沢な出荷となり、前年を下回る単価での推移となりました。年明け以降は、年始めの流通在庫で荷動きが悪くなったものの、本年については主産県合同での販促の実施により売り出しが多く、荷動きは前年より良くなりました。桜の開花以降は、気温の低下により冬産地の数量が落ち着き、また売り出しが多かったことから、3～4月中旬頃まで前年を上回る単価で推移しました。しかし、4月下旬よりゴールデンウィークにかけて各産地とも出荷のピークとなり、10連休の影響も大きく、5月は月間を通して販売に苦戦しました。6月上旬も気温高と好天続きによる前倒し出荷となり単価は苦戦が続きましたが、中旬以降は冬春産地の切り上がりと後続産地の増え方が緩やかだったため幾分の回復を見ました。

#### イ 競合産地の動向

作付面積は、熊本と栃木は微増、千葉は横ばいです。品種は、耐病性の品種が多くなっています。販売促進については、熊本、栃木は積極的に実施しており、ポスターやPOP、レシピなどの販促資材が充実しています。

#### ウ 消費動向

競合産地の他に企業系の市場外流通が増加傾向にあり、量販店とのシーズン契約や業務向けについても増加が目立ち、より先売りが必要な時代となっています。

#### エ 愛知県への提言

より選ばれる産地になるべく、商品力や販売を含めたプロモーションの強化が必要と思われます。

### (3) ブロッコリー

#### ア 販売経過

年内販売は、本県産では台風24号の影響により出遅れ感がありましたが、他産地は順調な出荷となり、11月以降は関東近在産地～九州産地まで出荷が重なり販売に苦戦しました。年明け後の販売は、低温と干ばつにより1月に若干の端境期が見られたものの、2月以降は天候災害も無く各地順調な出荷となり、遅れた作が重なったことも影響して販売に苦戦する時期が長期間続きました。

#### イ 競合産地の動向

熊本、長崎を中心とした九州産地は、人手不足で現在は足踏み状態ですが、作付け意欲はあり長期的に見ればまだまだ作付増加が予想されます。

四国産地は、香川の独占状態で1,100haほどの作付面積を有し、今後もレタスからの転作により作付けが増加すると予想されます。また、近年は徳島産の京浜市場向け出荷が徐々に増加しています。

#### ウ 消費動向

ブロッコリーの需要は増えているものの、消費形態が国産を中心とした生食から、外国産中心の夕食、中食に少しずつ移行しています。また、カットサラダだけでなく、冷凍食品など新たな需要が増えています。

#### エ 愛知県への提言

九州産地を中心に「氷詰め」での出荷が増えており、量販との商談において大きなアドバンテージとなっています。愛知産は、まだまだ秋冬産地のトップブランドですが、これら氷詰め産地に対応するためにも、契約販売や事前提案販売など、積極的な販売を求められており、数量や単価のリスクはあるものの、顧客・売場確保のためには是非お願いしたいとの声が聞かれました。また、年々、品質の個人差が目立ってきており、こちらの対応も再度お願いしたいとの話もありました。



## 「あいち花の交流ひろば」を開催しました

園芸農産課

愛知県は昭和 37 年から 56 年連続して花き産出額が日本一を誇る「花の王国」です。

あいちの花の魅力を伝えるイベントとして、名古屋市中心部の久屋大通庭園フラリエや愛知県で開催された「第 70 回全国植樹祭あいち 2019」の会場において、「あいち花の交流ひろば」を開催しましたので、概要を紹介します。

### 1 開催概要

#### (1) 主催

あいち花の交流ひろば実行委員会

構成：愛知県、愛知県花き温室園芸組合連合会

#### (2) 期日・場所等

- ・久屋大通庭園フラリエ会場

期日：平成 31 年 4 月 11 日（木）から 14 日（日）まで

場所：久屋大通庭園フラリエ（名古屋市中区）

備考：「第 4 回フラリエみらい花フェスタ with あいち花の交流ひろば」として開催

- ・第 70 回全国植樹祭あいち 2019 会場

期日：令和元年 6 月 2 日（日）

場所：愛知県森林公園（尾張旭市）

備考：「第 70 回全国植樹祭あいち 2019」のおもてなし広場において開催

### 2 主な内容

#### (1) 久屋大通庭園フラリエ会場

久屋大通庭園フラリエ会場では、県産の杉ときくなど 8 種 1,500 本のあいちの花を使った「第 70 回全国植樹祭あいち 2019 PR 装飾」、県と国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構が共同で開発したきくの新品種を使った「かがり弁ぎく PR 展示」を実施しました。また、県内の生産者自慢の花 180 点が競う品評会「あいちフラワーコンテスト」や、「あいちの花を使った体験講座」として花束やハーバリウムの製作体験を実施し、来場者へ全国植樹祭と本県産花きの素晴らしさを PR しました。



第 70 回全国植樹祭あいち 2019 PR 装飾



かがり弁ぎく PR 展示



あいちフラワーコンテスト



あいちの花を使った体験講座

## (2) 第70回全国植樹祭あいち 2019 会場

第70回全国植樹祭あいち 2019 会場内の「おもてなし広場」において、大相撲名古屋場所で愛知県知事から優勝力士に贈呈されるあいちの花を使った「大花束のレプリカと一緒に写真が撮れる写真スポット」を設置しました。また、久屋大通庭園フラリエ会場に引き続き「かがり弁ぎくPR展示」を行いました。



大花束のレプリカと一緒に写真が撮れる写真スポット



「かがり弁ぎく」PR展示



参考：かがり弁ぎく

## 3 開催結果

### (1) 来場者数

35,137人（フラリエ会場 27,337人、植樹祭会場 7,800人）

### (2) 来場者の感想

来場者からは、「愛知県でこんなに色々な花を作っているなんて驚いた」、「大花束の迫力が凄かった」、「かがり弁ぎくを家でも飾ってみたい」などの感想が聞かれました。

2会場、5日間の実施により、県内外の多くの来場者に対して、高品質な本県産花きやきくの新品種「かがり弁ぎく」の魅力をPRできました。今後も継続して、花き関係団体等と連携して本県産花きや県育成新品種などのプロモーションに取り組めます。

## 愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下  
 わずか : ± 2 % 台  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 16 % 以上

### ○ 名古屋中央卸売市場（品目：巨峰）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年の主な他産地 (上位3産地)
30年実績	853	111 (13%)	1,031	1,015	長野 (60%) 山梨 (26%)
元年見通し	870	100	1,000	—	—
<b>入荷量及び卸売価格の概要と見通し</b>			<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>		
<p>前年から引き続き、シャインマスカットの割合が増加し、巨峰は減少傾向にある。巨峰の本年作は前年より1週間ほど遅く、29年作に近い動きとなっている。7月の曇雨天続きにより酸抜けが悪く、収穫出荷まで時間を要している。玉肥大や果実品質への曇雨天の影響は少なく平年並の作柄で、長野は玉伸びが良く箱数が出てくるか。入荷量は前年並となり、価格は前年をやや下回る見込み。</p>			<p>ぶどう類の作付面積は、長野と山梨は概ね横ばいだが、愛知は高齢化により減少傾向にある。また、シャインマスカットがメインになりつつある中、巨峰の入荷量確保を求める声は強く、作付面積の維持をお願いしたい。本年の出荷物については、長雨がかったものの、現在のところ果実品質に大きな問題は出ていないが、例年同様に高温期の玉割れ等には注意をお願いしたい。</p>		

### ○ 東京都中央卸売市場（品目：いちじく）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年の主な他産地 (上位3産地)
30年実績	1,000	511 (51%)	926	1053	和歌山 (19%) 静岡 (9%) 福岡 (8%)
元年見通し	1,100	—	920	—	
<b>入荷量及び卸売価格の概要と見通し</b>			<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>		
<p>愛知は長梅雨で1週間程の遅れが見られるが、概ね順調に生育している。和歌山は曇雨天により無加温でのロス率の高まりや露地物の遅れが見られたものの、梅雨明けにより回復するか。福岡を含め、各産地ともに8月後半に入荷ピークを迎える見込みで、9月上旬には入荷が落ち着くか。今年例年通りの入荷量を見込むものの、今後の台風の影響を注視する必要がある。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年並の見込み。</p>			<p>愛知産は入荷量が多く品質も良いため、量販店からも支持されている。商品特性として過熟や裂果といった傷みが出やすく、品質管理が特に重要であるため、検品をしっかり行い品質維持を図るとともに、等級別選果の徹底に努めてほしい。いちじくは京浜地区でも夏から秋の果物として定着してきている。生産者の高齢化等により生産規模が縮小傾向であるが、産地の維持・拡大をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の8月の見通し

名古屋市中央卸売市場

7月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	26年	30,455	238	216	242	256	北海道 31%
	27年	31,113	253	263	263	238	長野 25%
	28年	31,027	230	239	226	224	群馬 10%
	29年	31,057	229	213	231	243	兵庫 6%
	30年	30,738	265	264	271	265	青森 5%
	5ヵ年平均	30,878	243	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	30,500	228	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、長野を中心に入荷する。長雨の影響で葉菜では傷みの発生が懸念される。果菜類も着果不良等の影響が見られるが、入荷は平年並の品目が多い。前年天候不順となった北海道の本年の作柄は平年並か。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
だいこん	26年	1,494	103	85	113	115	北海道 53%
	27年	1,614	118	103	138	126	青森 38%
	28年	1,434	114	95	126	132	岐阜 5%
	29年	1,459	87	92	95	87	長野 4%
	30年	1,634	113	131	122	105	
	5ヵ年平均	1,527	107	102	119	113	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,500	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、青森を中心に入荷する。前年是不作傾向だった一方で、名古屋市場では青森産が増量して入荷量は平年を上回った。本年は北海道、青森ともに平年作の見通しで、順調な入荷が予想される。入荷量と価格はともに前年をかなり下回る見込み。</p>							
にんじん	26年	2,030	125	127	123	129	北海道 98%
	27年	1,924	174	192	162	167	青森 2%
	28年	1,749	154	178	115	163	
	29年	2,198	71	58	69	86	
	30年	1,967	139	129	132	149	
	5ヵ年平均	1,974	130	134	119	137	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	2,000	130	130	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道を中心に入荷する。青森の入荷は上旬にほぼ終了し、北海道に切り替わる。北海道は概ね前年並の入荷量を見込むが、低温と干ばつの影響によりやや小玉傾向となるか。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							



注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。  
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

7月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	26年	122,553	256	223	261	280	北海道 21%
	27年	125,582	267	268	270	263	群馬 17%
	28年	128,499	235	238	232	234	長野 16%
	29年	125,300	248	229	254	261	青森 7%
	30年	118,693	290	290	295	287	茨城 6%
	5ヵ年平均	124,125	259	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	120,000	250	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、東北、高冷産地からの入荷が中心となる。果菜類を中心に7月の天候不順の影響が残るも、前年は低温長雨で大打撃を受けた主力の北海道は無傷。不足感なく安定した出荷が見込まれる。  入荷量は前年並となり、価格は高騰した前年をかなり下回る見込み。</p>					
だいこん	26年	9,348	102	77	112	114	北海道 63%
	27年	9,412	121	101	133	128	青森 30%
	28年	8,636	118	90	137	131	岩手 4%
	29年	9,414	84	84	88	82	群馬 1%
	30年	8,017	116	125	122	104	
	5ヵ年平均	8,965	108	95	118	112	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	8,600	100	80	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、青森からの入荷がほとんどを占める。北海道は作柄良好で、青森を含めて潤沢な入荷が見込まれる。しかし一部産地においては病害虫、乾燥などによる品質への懸念も残る。  入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
にんじん	26年	6,875	114	116	113	113	北海道 87%
	27年	6,635	167	189	158	155	青森 9%
	28年	6,700	145	169	117	146	中国 3%
	29年	7,607	71	64	70	78	千葉 1%
	30年	6,478	137	129	139	142	
	5ヵ年平均	6,859	125	131	118	125	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	7,000	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。産地によっては5月に風害を受けており、肥大不足等の影響が残る。産地ごとに軽微な問題あるものの、生育は概ね良好と判断される。  入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

7月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)			
				上旬	中旬	下旬	
はんぱい	26年	1,423	115	99	136	126	長野 100%
	27年	1,434	109	104	146	96	
	28年	1,690	56	61	62	58	
	29年	1,636	86	56	82	115	
	30年	1,524	122	158	105	107	
	5ヵ年平均	1,541	96	94	104	99	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,500	70	70	70	70	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>長野からほぼ全量を入荷する。7月前半の市況に日照不足の影響は見られないが、曇雨天続きによる作柄の悪化が予想され、盆前後まで入荷への影響が懸念される。 入荷量は前年並で、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>						
	キヤベツ	26年	4,048	98	86	105	110
27年		4,206	103	103	114	102	
28年		4,438	77	78	81	79	
29年		4,289	89	71	97	100	
30年		4,322	100	114	108	91	
5ヵ年平均		4,260	93	90	101	96	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
元年見通し		4,300	80	70	80	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>群馬を中心に長野などからも入荷する。両産地ともにここまで生育順調だったが、長雨の影響による品質低下が懸念される。価格は7月の安値傾向が続く見通しで、販売には苦戦するか。 入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
ほうれんそう		26年	143	797	689	731	1,017
	27年	159	867	760	821	789	
	28年	178	682	624	690	795	
	29年	137	806	778	869	809	
	30年	137	853	848	846	886	
	5ヵ年平均	151	797	734	786	855	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	150	780	650	750	800	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>岐阜を中心に、一部長野や茨城などから入荷する。岐阜の上旬は順調な入荷となる見込み。下旬は梅雨明け後の高温期に播種した分の入荷となり数量を減らすか、全体的には概ね順調な市況となるか。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						



東京都中央卸売市場

7月31日現在

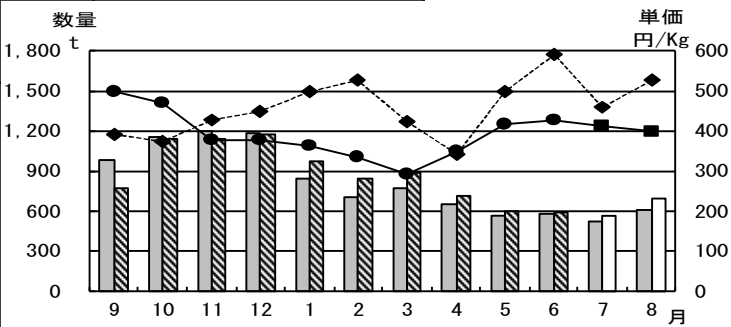
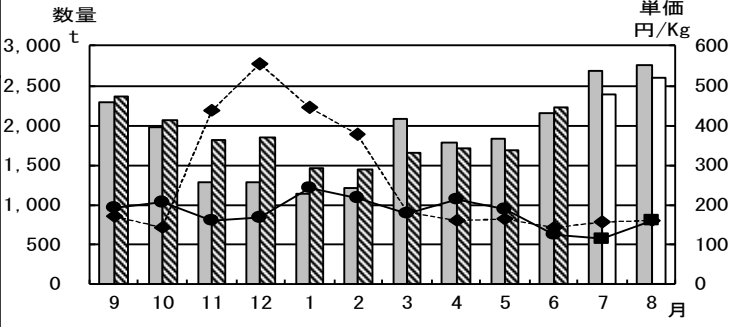
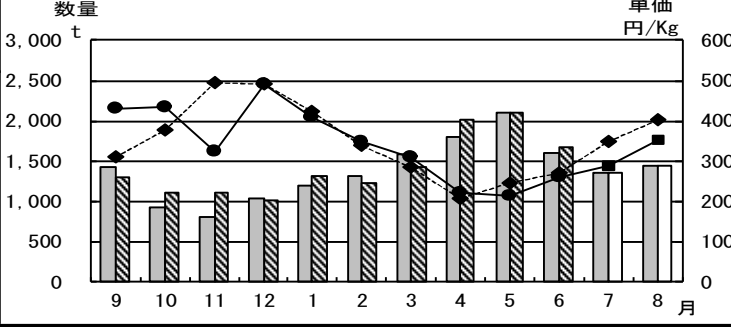
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	26年	5,529	113	91	128	117	長野 96%
	27年	6,320	114	102	150	97	群馬 3%
	28年	6,024	57	55	58	57	茨城 1%
	29年	6,926	87	58	83	114	
	30年	7,209	126	164	111	106	
	5ヵ年平均	6,402	100	96	106	99	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	7,100	90	90	90	90	
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>長野からの入荷が中心となる。7月の日照不足と低温のため、生育に数日の遅れがあり、病害の発生も心配される。前半は入荷減の懸念があるも、後半は天候の回復とともに入荷は改善される見込み。 入荷量は前年並となり、価格は高温干ばつで高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>						
キャベツ	26年	14,423	94	73	100	107	群馬 79%
	27年	15,657	103	94	110	105	岩手 13%
	28年	16,486	70	66	72	72	長野 6%
	29年	16,393	82	60	90	96	北海道 1%
	30年	17,527	100	117	103	83	青森 1%
	5ヵ年平均	16,097	90	83	95	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	17,000	80	70	90	80	
べ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>群馬、岩手からの入荷が中心となる。群馬では5月の霜、7月の低温・日照不足による生育遅れ、作業遅れが出ている。前半は動きが少なく、後半は天候次第で回復となるか。一部では病害の懸念が残る。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>						
ほうれんそう	26年	754	778	661	712	970	群馬 36%
	27年	695	857	797	951	828	栃木 29%
	28年	788	659	583	683	731	茨城 12%
	29年	695	823	834	881	772	岩手 10%
	30年	662	826	799	835	83	岐阜 5%
	5ヵ年平均	719	785	729	807	688	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	700	750	650	850	750	
そ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>群馬、栃木など関東高冷地と岩手からの入荷となる。低温、日照不足の影響で軟弱気味の生育となっている。病害も懸念されるが、入荷は今後の天候次第か。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

7月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	26年	718	421	384	490	413	北海道 30%
	27年	747	425	426	467	408	長野 15%
	28年	732	389	386	401	404	茨城 10%
	29年	697	445	401	488	461	中国 9%
	30年	608	526	509	550	530	愛知 7%
	5ヵ年平均	700	438	418	477	440	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	700	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、長野、茨城などの産地から入荷する。前年天候不順で入荷減となった北海道は平年並を見込む。長雨の影響は特に日照の少ない関東産地などで予想されるが、全国的に産地も多く、入荷量は平年並か。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
し	26年	2,519	217	176	195	294	長野 100%
	27年	2,483	197	206	218	183	
	28年	2,429	154	137	160	181	
	29年	2,686	166	139	151	200	
	30年	2,762	161	170	143	168	
	5ヵ年平均	2,576	179	165	173	205	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	2,600	160	130	180	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野からほぼ全量を入荷する。7月前半の市況に日照不足の影響は見られないが、長雨による生育遅れや傷みが懸念される。病害や傷みが多発した場合は前半の入荷減も予想される。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
きゅうり	26年	1,231	408	230	449	563	長野 53%
	27年	1,429	315	297	310	371	北海道 22%
	28年	1,643	239	214	208	300	山形 10%
	29年	1,479	313	253	305	370	岩手 4%
	30年	1,438	403	337	423	449	山梨 3%
	5ヵ年平均	1,444	331	266	332	403	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,440	353	280	380	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に北海道などから入荷する。7月には日照不足による価格高騰の報道も出たが、特に日照が少ない関東近郊産地に比べて、長野や北海道への影響は小さく、平年並の入荷を見込む。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

7月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	26年	4,560	341	303	409	320	茨城 30%
	27年	4,629	392	370	453	367	青森 18%
	28年	4,184	310	265	356	321	秋田 12%
	29年	4,320	413	368	510	404	北海道 10%
	30年	4,241	466	441	547	439	中国 5%
	5ヵ年平均	4,387	384	349	455	370	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	4,600	340	330	330	360	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、東北、北海道からの入荷となる。概ね順調な生育となるが、各産地ともに低温・日照不足の時期があり、軟弱生育による病害の懸念は残る。好天が続けば潤沢な入荷が見込まれる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>					
<p>茨城、東北、北海道からの入荷となる。概ね順調な生育となるが、各産地ともに低温・日照不足の時期があり、軟弱生育による病害の懸念は残る。好天が続けば潤沢な入荷が見込まれる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>							
し	26年	8,784	194	181	198	320	長野 87%
	27年	9,585	198	206	216	177	群馬 11%
	28年	10,216	145	122	144	172	岩手 1%
	29年	10,160	168	130	151	219	北海道 1%
	30年	9,764	153	157	134	164	
	5ヵ年平均	9,702	171	158	167	208	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	9,700	135	145	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野、群馬からの入荷がほとんどを占める。7月の低温・日照不足の影響を受け、生育遅れと病害の発生が見られる。入荷不安定となることが懸念されるも、7月下旬時点では価格に動きはない。 入荷量は前年及び平年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
<p>長野、群馬からの入荷がほとんどを占める。7月の低温・日照不足の影響を受け、生育遅れと病害の発生が見られる。入荷不安定となることが懸念されるも、7月下旬時点では価格に動きはない。 入荷量は前年及び平年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
きゅうり	26年	7,157	391	194	451	559	福島 43%
	27年	8,160	289	267	250	360	岩手 23%
	28年	9,054	208	177	191	259	秋田 12%
	29年	7,691	306	242	310	362	山形 6%
	30年	7,605	374	303	400	413	青森 4%
	5ヵ年平均	7,933	309	235	313	383	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	7,500	300	270	300	330	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>福島、岩手からの入荷が中心となる。7月は全国的な天候不順により、突発的な品薄となり高値を出す場面もあったが、梅雨明け以降は生育、入荷量ともに順調に回復しつつある。病虫害の発生が懸念される。 入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
<p>福島、岩手からの入荷が中心となる。7月は全国的な天候不順により、突発的な品薄となり高値を出す場面もあったが、梅雨明け以降は生育、入荷量ともに順調に回復しつつある。病虫害の発生が懸念される。 入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

7月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	26年	840	329	275	364	358	愛知 32%
	27年	1,094	278	333	277	245	山梨 22%
	28年	1,110	216	255	188	203	徳島 19%
	29年	955	285	287	276	292	茨城 10%
	30年	964	306	350	277	296	群馬 8%
	5カ年平均	993	280	300	272	274	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,000	285	280	270	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、山梨、徳島を中心に入荷する。曇雨天の影響がやや出ているが、7月前半の入荷状況は順調。長雨による盆前頃の着果不良も懸念されるが、概ね平年並の入荷となるか。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ト マ ト	26年	1,839	299	262	262	363	岐阜 62%
	27年	1,702	304	273	282	361	北海道 19%
	28年	1,949	275	301	248	278	愛知 9%
	29年	1,580	351	295	318	433	熊本 4%
	30年	1,501	437	378	422	512	長野 4%
	5カ年平均	1,714	328	299	301	382	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,530	350	350	350	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岐阜を中心に北海道、愛知などから入荷する。7月前半は曇雨天の影響は少なかった。8月は梅雨も明けて順調な入荷を見込むが、長雨による着果不良もあり、盆以降は数量が減少するか。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	26年	457	511	482	453	589	北海道 72%
	27年	441	571	578	568	595	長野 15%
	28年	500	607	694	587	541	愛知 5%
	29年	576	653	556	608	767	岐阜 3%
	30年	498	902	823	851	1,009	岩手 3%
	5カ年平均	494	653	628	617	706	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	500	600	600	550	650	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に長野、愛知などから入荷する。7月前半は前年を上回る順調な入荷となった。長雨の影響も懸念されるが、各産地とも作付けが増えており、8月も引き続き順調な入荷が予想される。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

7月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	26年	4,621	297	223	330	343	群馬 31%
	27年	5,126	266	283	245	272	栃木 28%
	28年	4,547	234	256	184	255	茨城 24%
	29年	4,794	298	297	288	307	埼玉 5%
	30年	5,024	308	326	273	320	岩手 3%
	5ヵ年平均	4,822	281	278	264	299	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	4,700	310	320	290	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、栃木、茨城など関東産地を中心に入荷する。各産地とも低温・日照不足の影響が散見される。生育遅れや品質低下、入荷減が予想されるが、後半は天候回復とともに持ち直し、増量すると見込まれる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
ト マ ト	26年	9,833	264	239	233	320	北海道 19%
	27年	9,009	294	257	257	387	青森 17%
	28年	10,663	262	288	238	256	岩手 17%
	29年	8,286	332	228	304	400	茨城 12%
	30年	7,464	440	363	445	508	福島 10%
	5ヵ年平均	9,051	311	273	287	364	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	9,000	320	290	300	370	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森、北海道、福島、群馬からの入荷が中心となる。各産地とも日照不足等で7月の数量を減らしたが、梅雨明けとともに出荷量を回復させている。潤沢な入荷で盆を迎え、後半は最盛期を越えて落ち着くか。入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	26年	1,702	552	509	524	619	北海道 31%
	27年	1,743	599	551	569	673	青森 20%
	28年	1,914	614	688	600	562	岩手 12%
	29年	1,875	682	592	644	793	茨城 10%
	30年	1,633	892	769	854	1,020	福島 10%
	5ヵ年平均	1,773	665	621	635	728	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,800	660	620	630	730	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、東北各産地からの入荷が中心となる。北海道は平年より1週間ほど生育が早い。後半に入荷ピークを迎える見通し。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

7月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)				
				上旬	中旬	下旬		
ピーマン	26年	424	315	270	292	409	北海道	46%
	27年	482	424	407	460	448	岩手	25%
	28年	442	279	347	306	297	青森	10%
	29年	392	403	387	427	461	長野	6%
	30年	380	596	564	580	606	茨城	6%
	5カ年平均	424	399	392	410	440	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	420	393	400	380	400		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、岩手を中心に入荷する。北海道は平年並の順調な入荷を見込む。岩手などの東北産地は長雨で花芽が弱っているが、天候不順の影響を受けた前年よりは入荷量が増加するか。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>						
ばれいしょ	26年	2,296	132	140	131	132	北海道	77%
	27年	2,438	142	171	152	125	青森	12%
	28年	2,480	147	164	153	143	静岡	9%
	29年	2,167	117	114	114	123	富山	2%
	30年	2,080	115	103	119	131	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	5カ年平均	2,292	131	140	135	131		
	元年見通し	2,150	136	150	140	120		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に青森などから入荷する。北海道は盆明けから増量し、順調な入荷を見込む。前年は6、7月が大幅な安値となり、8月もそれを引き摺った。本年もやや安値推移だが、8月は平年並となるか。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>						
たまねぎ	26年	3,982	126	129	137	121	北海道	56%
	27年	3,795	139	160	142	124	兵庫	39%
	28年	3,439	176	211	189	155	愛知	2%
	29年	4,084	84	90	87	81	富山	1%
	30年	4,651	107	108	111	106	佐賀	1%
	5カ年平均	3,990	124	136	131	116	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	4,500	95	100	95	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、兵庫を中心に入荷する。盆前までの主産地の兵庫は順調な入荷を見込む。北海道も盆前から増量していき、潤沢な入荷を見込む。大幅な入荷増となった前年に近い入荷となる見通し。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						



東京都中央卸売市場

7月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	26年	1,841	319	282	290	384	岩手 52%
	27年	1,860	398	371	451	382	茨城 18%
	28年	2,162	229	288	202	202	福島 15%
	29年	1,949	373	335	386	399	青森 11%
	30年	1,947	545	561	573	517	高知 1%
	5ヵ年平均	1,952	370	367	377	373	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,900	400	420	400	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岩手、福島など東北産地と茨城からの入荷が中心となる。前半は天候不順の影響で数量を減らすも、後半への影響は限定的。一部産地の生育遅れや入荷減も、他産地の最盛期突入や作付増分で相殺される。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
白菜	26年	6,413	131	131	130	130	北海道 72%
	27年	6,961	133	154	133	121	茨城 11%
	28年	6,503	147	158	145	143	青森 6%
	29年	6,290	124	117	125	130	長崎 3%
	30年	5,139	117	91	117	132	静岡 3%
	5ヵ年平均	6,261	131	132	131	131	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	6,200	140	180	140	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に茨城、青森からの入荷となる。茨城、青森ともに生育順調で、7月下旬から8月上旬に切り上がる見通し。同時に出荷が始まる北海道が加わり、入荷は潤沢になる見込み。入荷量は北海道が不作となった前年を大幅に上回り、価格も大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	26年	10,162	132	131	135	130	北海道 49%
	27年	10,359	134	160	134	118	兵庫 30%
	28年	9,412	170	191	177	152	佐賀 11%
	29年	10,166	88	89	91	85	中国 5%
	30年	9,933	112	118	114	106	香川 2%
	5ヵ年平均	10,006	127	137	130	118	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	10,200	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、兵庫からの入荷が中心となる。北海道、兵庫ともに生育順調で豊作基調となっており、雨をもらって肥大も良いことから潤沢な入荷が見込まれる。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

7月19日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	26年	10,208	361	352	365	359	長野 30%
	27年	8,950	435	444	445	419	山形 13%
	28年	9,757	401	436	381	357	フィリピン 12%
	29年	9,919	393	432	381	358	愛知 10%
	30年	9,006	430	443	414	430	青森 7%
	5ヵ年平均	9,568	403	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	8,400	420	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	ぶどう、なし、ももなどを中心に入荷する。低温や曇雨天の影響で前進傾向だった前年より遅れている。ぶどうやももは出だしが遅れ、7月入荷が減少。なしは8月の入荷が前倒した前年より大幅減の見込み。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。						
アー モンド	26年	248	537	—	—	—	愛知 55%
	27年	221	641	—	—	—	静岡 23%
	28年	247	553	—	—	—	茨城 11%
	29年	260	550	—	—	—	青森 7%
	30年	226	556	—	—	—	高知 2%
	5ヵ年平均	240	566	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	230	550	—	—	—	
メロ ン	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知を中心に静岡、茨城などから入荷する。品目転換等により作付面積は減少しているが、大玉・前進傾向となっており、前年と同程度の入荷量が予想される。愛知は盆前にピークを迎える見通し。入荷量と価格はともに前年並の見込み。						
す い か	26年	2,470	132	145	141	111	山形 41%
	27年	1,901	213	212	234	193	長野 37%
	28年	2,256	183	207	179	121	青森 13%
	29年	2,776	165	205	151	106	秋田 3%
	30年	2,135	186	186	191	183	愛知 3%
	5ヵ年平均	2,308	173	190	175	139	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	2,100	170	180	170	160	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	山形、長野を中心に青森などからも入荷する。猛暑だった前年とは異なり、涼しい気温のため7月前半の販売は不調だった。価格は低迷しているが、梅雨明け後の8月には平年並に回復するか。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。						

東京都中央卸売市場

7月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	26年	40,624	348	334	365	348	山形 18%
	27年	36,074	423	417	446	411	山梨 11%
	28年	40,346	379	417	371	340	長野 10%
	29年	39,014	398	434	401	357	福島 9%
	30年	35,342	436	427	436	448	茨城 7%
	5ヵ年平均	38,280	395	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	35,000	400	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	なし、もも、ぶどうを中心に入荷する。7月は低温・低日照が続き、山梨産のももは入荷減の見込み。なしは生育遅れや肥大が小振りとなる産地もみられる。梅雨明けで入荷回復も、価格は盆明けの動向が気になる。入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。						
アールスメロン	26年	632	540	518	666	462	茨城 34%
	27年	590	659	639	787	591	静岡 33%
	28年	603	546	600	586	454	青森 15%
	29年	649	546	600	661	453	山形 9%
	30年	635	571	549	708	525	愛知 5%
	5ヵ年平均	622	571	580	681	496	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	610	550	530	640	480	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	静岡、茨城を中心に入荷する。静岡は曇雨天の影響で小玉傾向となり入荷減。糖度もばらつきが予想される。茨城は天候の影響は少ないものの、生産者減により入荷量も若干減るか。入荷量、価格ともに前年をやや下回る見込み。						
すいか	26年	11,171	137	140	141	124	山形 51%
	27年	8,465	213	206	238	189	長野 14%
	28年	9,980	175	205	161	118	秋田 12%
	29年	10,196	166	200	154	110	青森 7%
	30年	7,936	190	179	193	223	神奈川 7%
	5ヵ年平均	9,550	173	185	174	148	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	8,000	170	190	170	150	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	山形、長野を中心に入荷。梅雨の影響はあるものの極端な入荷減はない予想。気温上昇により引き合いが強まることを期待。8月上旬までが入荷ピークとなり、盆明けからは徐々に減少傾向となる見込み。入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。						

# 切花・鉢花の8月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 7月30日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	26年	2,163	60	
		27年	2,200	60	
		28年	2,641	55	
		29年	2,381	58	
		30年	2,185	62	
	5ヶ年平均		2,314	59	
	元年見通し		2,200	60	
概要	愛知、長野、三重などから入荷する。梅雨が長く、気温も低めに推移したため、高冷地産を中心に生育に影響が出ている。盆需要で前半は堅調な動きが見込まれる。				
小 ぎ	実績	26年	2,082	37	
		27年	1,704	47	
		28年	2,477	36	
		29年	1,931	37	
		30年	1,732	44	
	5ヶ年平均		1,985	40	
	元年見通し		1,800	40	
概要	愛知、長野、奈良、埼玉、岩手などから入荷する。低温、長梅雨の影響で高冷地中心に生育不足や遅れが見られる。前半は盆需要で堅調な動きを見込むが、出荷の遅れ具合によっては中旬以降は厳しい販売展開も予想される。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	26年	1,185	48	
		27年	1,200	45	
		28年	1,347	44	
		29年	1,281	48	
		30年	1,451	49	
	5ヶ年平均		1,293	47	
	元年見通し		1,300	45	
概要	長野を中心に北海道などから入荷する。7~10日程の遅れで盆に少し山ができるが、盆明けもダラダラ出荷となる。盆明けは少し厳しい情勢。				
か す み	実績	26年	104	130	
		27年	118	117	
		28年	138	89	
		29年	121	95	
		30年	120	105	
	5ヶ年平均		120	106	
	元年見通し		125	100	
概要	長野、福島から入荷する。日照時間が少なく、7月出荷が少ない影響で、上旬から多くなる。業務需要が少なく、数量次第では厳しい販売となる見込み。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	26年	401	166	
		27年	237	96	
		28年	455	159	
		29年	428	152	
		30年	355	178	
	5ヶ年平均		375	155	
	元年見通し		350	160	
概要	<p>オリエンタルは新潟、岐阜、北海道から入荷する。出荷が前年よりやや遅れている産地もあるが、順調な入荷を見込む。鉄砲は兵庫、愛媛、長野から入荷する。前年は悪天候の影響で出荷が少ない年だったが、前年よりは増加が見込まれる。LAは新潟、埼玉から前年並の入荷見込み。相場は8月5日頃から上向いてくる。</p>				
洋らん	実績	26年	402	108	
		27年	507	82	
		28年	453	86	
		29年	484	78	
		30年	532	82	
	5ヶ年平均		476	86	
	元年見通し		500	80	
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡などの国産物や輸入物が入荷する。天候不順によりやや生育不足も見受けられる。今後温度上昇してくると、品質による価格差が大きくなると思われる。</p>				
ばら	実績	26年	428	102	
		27年	580	57	
		28年	695	49	
		29年	566	60	
		30年	557	60	
	5ヶ年平均		565	63	
	元年見通し		550	60	
概要	<p>山形、長野、愛知、岐阜を中心に入荷する。長梅雨の影響で湿度が高く、病気等の心配があるが、梅雨明けで品質は上がってくると思われる。盆明けには株休めをしている伊勢産も後半から出荷再開する。</p>				
枝も	実績	26年	1,949	61	
		27年	1,898	66	
		28年	2,028	66	
		29年	1,766	68	
		30年	1,726	65	
	5ヶ年平均		1,873	65	
	元年見通し		1,750	65	
概要	<p>九州産地、静岡、長野から盆商材が入荷する。稽古、アレンジ芯材の需要は少なく、軟調。盆商品は雨が長く遅れ気味で、堅調な動きとはなるが、引合いはそれほど強くない見込み。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	26年	13,836	943	
		27年	11,729	863	
		28年	12,095	900	
		29年	9,275	948	
		30年	9,758	926	
	5ヶ年平均		11,339	915	
	元年見通し		9,700	928	
概要	<p>入荷量は前年並か。作付けは前年に比べて大きな変更もなく、6号サイズでMIXでの入荷が多い。色別では白の引き合いが強く、特殊な色は苦戦すると思われる。 前年8月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(93.3%)、2位長崎(1.1%)、3位静岡(0.4%)となっている。</p>				
シ ヤ コ バ サ ボ テ ン	実 績	26年	7,616	342	
		27年	10,346	336	
		28年	7,405	369	
		29年	8,559	403	
		30年	3,421	411	
	5ヶ年平均		7,469	366	
	元年見通し		3,400	412	
概要	<p>作付量が前年並のため、入荷量は前年の数量に近づく見込み。3.5号、5号の引き合いが強く、6号以上は苦戦が予想される。近年は競売での価格が安定しないため、注文の数量次第では大幅に上下すると思われる。 前年8月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉(71.3%)、2位愛知(28.7%)となっている。</p>				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	26年	4,430	109	
		27年	6,714	141	
		28年	9,230	95	
		29年	7,147	119	
		30年	5,324	123	
	5ヶ年平均		6,569	116	
	元年見通し		5,300	123	
概要	<p>入荷量は前年並もしくは前年より減少するか。前年のような猛暑になると生産も販売も厳しく、生産調整が出てくるとと思われる。入荷は愛媛と岐阜を中心に3~3.5号がメインとなる見込み。 前年8月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛媛(55.0%)、2位岐阜(45.0%)となっている。</p>				



単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
オンシウム	実績	26年	2,833	781	
		27年	2,858	695	
		28年	3,131	656	
		29年	1,633	776	
		30年	1,331	764	
	5ヶ年平均		2,357	725	
	元年見通し		1,300	769	
概要	<p>入荷量は前年よりわずかに減少するか。供給苗単価の高騰、高齢化、価格の伸び悩みにより生産者は減少している。気温が高く開花スピードが速いため、固めの出荷をお願いしたい。また水切れ防止のため、出荷前には水をしっかりやって出荷をお願いしたい。</p> <p>前年8月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位高知(44.1%)、2位愛知(27.4%)、3位長崎(25.6%)となっている。</p>				
スパテイ	実績	26年	8,066	184	
		27年	4,715	275	
		28年	835	452	
		29年	1,496	342	
		30年	1,213	378	
	5ヶ年平均		3,265	253	
	元年見通し		1,200	382	
概要	<p>入荷量は前年並の見込み。4号サイズを中心に入荷は多いと思われるが、6号以上の大きいサイズは少なくなる見込み。入荷量が少なくなれば価格は上昇するとみられるが、厳しい状況か。</p> <p>前年8月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(45.6%)、2位三重(40.6%)、3位岐阜(10.7%)となっている。</p>				
ドラセナ類	実績	26年	15,599	915	
		27年	24,000	750	
		28年	15,486	783	
		29年	12,613	926	
		30年	14,135	808	
	5ヶ年平均		16,367	825	
	元年見通し		14,000	786	
概要	<p>入荷量は前年並の見込み。愛知が入荷の中心となるが、8号以上のサイズは減少傾向。7号以下は大きく変わらないと思われる。ドラセナ類からの作付け変更の動きもある。</p> <p>前年8月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(66.1%)、2位沖縄(15.7%)、3位福岡(4.4%)となっている。</p>				



## いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.554  
令和元年8月発行  
農業水産局農政部食育消費流通課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6434